

地域協働学校だより No.11

令和4年3月15日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

地域協働学校からのご報告です。PTA オンライン寄席と3月7日に行われた新宿区選挙管理委員会事務局による6年生の模擬選挙体験授業についてご紹介いたします。



古今亭菊志ん師匠 PTA オンライン寄席



2月22日(火)に会議室で古今亭菊志ん師匠による寄席の収録が行われました。師匠は市谷小6年生児童の保護者で、以前から学校での寄席の開催にご協力いただいています。今回もこのコロナ禍に少しでも楽しめるイベントを、というこの企画に賛同しご協力くださいました。コロナ禍でも学校・PTAの創意工夫で感染対策を講じ、児童にとって貴重な体験の場となりました。

お噺(はなし)は「子ほめ」と「初天神」で、3月5日(土)と3月12日(土)の2回に分けて配信されます。収録は笑いをこらえながら行ったそうです。本橋PTA会長は「これを機に、家族でたくさん笑って新型コロナウイルスを吹き飛ばしてもらえたら」とのこと。市谷小PTA会員限定配信で、3月30日(水)まで視聴できるそうです。

6年模擬選挙体験授業

選挙って？

まず新宿区選挙管理委員会事務局の方から選挙について教えていただきました。選挙とはみんなの代表者を決めるもので、代表者はみんなの代わりにお金の使い方やルール(法律や条例)等を決めるのだと教わりました。また、制限選挙から普通選挙、18歳選挙権に至った歴史を学び、女性が選挙権を得るには大変な苦勞があり、やっと獲得した大事な権利なのだということを学びました。

児童たちは、昨年の選挙の年代別投票率のグラフから20代の投票率が低いことに気づきました。また、たった一票でも、その一票の差で議員になれなかった人もおり、一票の大切さを知りました。さらに、公約がしっかり実現できているか見守ることも大切だということも学びました。

これらのことから、投票しないと政治や税金の使い道が自分の希望に沿わないかもしれない、自分に不利なルールができてしまうかもしれないことを理解しました。政治はすぐ変わるものではなく時間がかかるもので、自分の世代の意見を政治に反映させるために投票することの重要性を確認しました。途中、「国債ってなに？」などの難しい質問が投げかけられましたが、児童はたくさん手をあげてしっかり答えていました。

これからのみんなにできること

6年生の児童たちも6年後、18歳になった時に選挙権を得ることになりますが、今の6年生にできることは何か、事務局の方からどうやったら社会が良くなるのか身近なところから考えてみることを提案されました。

身近なところから考えてみよう！

- ①自分のまちについて調べてみる。
- ②自分の今の生活について考えてみる。
- ③自分の将来のこと社会のことを考えてみる。

そして自分の意見を表してみる。新宿区では条例で「子どもの意見表明権」が保障されています。実際に子どもの意見から公園のトイレに絵が描かれた例が紹介されました。

【模擬選挙：市谷小へありがとうの活動総選挙】

体育館には、受付・用紙交付所・記載台・投票箱・計数機など、投票に使用されている貴重なものをお持ちいただき、実際の投票と同じように設営がされました。また、立ち合いの選挙管理人の方も参加してくださいました。



「でっかい絵・伊党」「デラブンブン党」「ぼて党」の3人の党首が立会演説を行い、自分の公約について理由や実施方法を主張し、応援演説もなされました。党首の一人は自宅からオンラインでの演説となり、新しい試みとなりました。事務局の方たちも「初めての経験です。」とおっしゃっていました。6年生はしっかりと演説を聞き、立派な態度でした。公約をまとめた選挙公報は事前に掲示・配布されており、投票用紙と引き換えるための投票所整理券も本物と同じ様式のものを使用しました。

投票の流れについて説明を受けて、投票がはじまりました。まず投票箱が空なのを確認し鍵をかけ、投票管理者の投票開始宣言に続いて投票受付開始となりました。



立会演説会



投票開始宣言後、受付開始。
機械から投票用紙を交付。



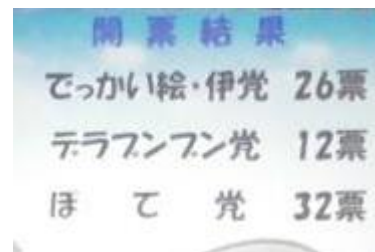
記載台で政党名を記入。



立会人の確認の下、投票箱へ投票。その後、投票終了宣言。



投票箱を開票所へ運び開票宣言
投票箱の中身を空にし、票を仕分け
て計数機で数える。



開票終了宣言
得票結果発表
ぼて党が最多票を獲得！

児童は全員、投票・開票・集計といったすべてのプロセスを体験することができました。最後に、事務局の方から「今日は自分で考えて自分で比較し投票することができました。こうやって参加することが大切です。問題点を見る力、判断する力が付きます。投票に行ってよりよい世の中にしてください。頑張ってください。」とお話がありました。また、明るい選挙推進委員（投票管理者としてお手伝いをする方）の小島さんからは「大切な権利を無駄にせず必ず投票へ行きましょう。」選挙管理委員の斎藤さんからは「それぞれの党の公約はぜひ実現してほしい。公約を見守りましょう。」といったお話をいただきました。

市谷小のホームページには地域協働学校だよりのバックナンバーを載せています。ぜひご覧ください。

https://www.shinjuku.ed.jp/es-ichigaya/kyoudou_main1.html